

研究計画概要

助成年度・種別	2015年度 若手研究助成
研究者	都島 梨紗
所 属	名古屋大学
研究テーマ	どのようにして非行から足を洗うのか—少年院出院者の就労獲得プロセスの追跡調査を事例に—
研究計画概要	<p>本研究の目的は、少年院歴を持つ非行少年が、就労を獲得するまでの過程に着目することで、どのような条件のもとで非行をやめていくのかを明らかにすることである。犯罪・非行研究では、近年上昇傾向にある再犯者率を受けて、再犯防止対策に焦点があてられている。なかでも、「犯罪者がどのようにして犯罪をしなくなるか」という、犯罪からの離脱に関する理論的枠組みや提言が示されるようになってきている。だがこれまでの犯罪・非行研究は、犯罪からの離脱に関する経験的な調査研究はほとんど行ってこなかった。</p> <p>そこで、本研究では全国11か所に支部を持つ少年院出院者の当事者支援団体を調査対象とし、Mixed Methods Research(混合研究法)を用いた研究設計を取ることにする。具体的にはアンケート手法による団体参加者への1年間の追跡調査、ならびに一部参加者へのインタビュー調査を行う。本研究は、逮捕の「その後」を追跡調査によってフォローし、どのような条件のもとで非行しなくなるのか、を明らかにする。近年上昇傾向にある再犯者率に対し、本研究は学術的のみならず、政策的、実践的な問題解決の糸口を担う。</p>
選考委員からのコメント	<p>ハンディキャップを持った若者たちをいかにして円滑に「大人」へと移行させるかは、社会が取り組むべき重要課題である。本研究は、少年院歴を持つ非行少年が、就労を獲得するまでの過程を追跡的に明らかにすることでこの課題に取り組む。計量的な方法に加えてライフヒストリー法による質的な方法を併用する点にも特徴がある。具体性のある研究計画に沿って、丹念に取り組んでほしい。学術的な成果だけでなく政策的なインプリケーションも得られるものと期待している。</p>